

民主党に続き、自民党が選挙制度改革案提出 小選挙区制固定化する「0増5減」

自民党は27日、「0増5減」に限った「衆議院小選挙区選出議員の選挙区間における人口較差を緊急に是正するための公職選挙法および衆議院選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案」を総務会で決定、同日夕提出しました【「法案要綱」は別添】。

「0増5減」（山梨、福井、徳島、高知、佐賀各県の3つの小選挙区をそれぞれ2にする）という区割りを手直しするだけのもので、民主党に早期解散を迫るために「0増5減」先行の思惑にもとづくものです。各党協議会で自民党も含め一致していた、「民意を歪める小選挙区制」に反し、小選挙区制を固定化するものです。「抜本改革」とはまったく程遠いものです。しかも谷垣総裁は「最高裁判決」に「応える」と繰り返し述べてきましたが、最高裁判決が「一人別枠方式の廃止」を示したのに、法案では文言上の削除のみにとどまり、判決の要請には応えていません。

先に民主党が各党協議と国民世論を無視して提出し、委員会付託を強行した法案—小選挙区「0増5減」、比例定数40削減・一部連用制導入、最終的に定数80削減—の扱いとともに民主・自民を中心に駆け引きが展開される見通しです。

明後日(8月1日)

8・1 緊急院内集会 & 議員要請 11団体が呼びかけ

11団体（自由法曹団、新日本婦人の会、全学連、全商連、全日本民医連、全労連、東京地評、農民連、婦人民主クラブ、民青同盟、憲法会議）は、国会情勢も踏まえ、院内集会 & 議員要請を緊急に行います。様々な取組が集中する中ですが、広く参加を呼びかけています。

小選挙区制を固定化し、比例定数削減に向けた「0増5減」案許さず
民意を反映する選挙制度の抜本的な改革を求める

8・1 緊急院内集会 & 議員要請

- ◇日時 8月1日(水)午後1時30分～2時15分 集会後議員要請
- ◇会場 衆議院第1議員会館第1面談室
- ◇国会報告、交流